俳諧歌雙児百首

一

911.3
ハ
1

立春 一
子日 五
殿 七
鶯 十三
若菜 十八
残雪 二十
梅 三十
柳 九十
早蕨 六十九
桜 九十九
猿 五十四
蜘蛛 七十四
琴 八十四
笛 十五
蝶 十五
船 四十五
海 十四十五
老人 五十五
鶴 七十五
昭君 八十五

東京大学

俳諧歌雙兒百首一之巻

撰者　四方歌垣真顔

立春

波那細
馬車引来〳〵あら〳〵も拾ひ集めつゝ　真門

裏微加花三
初鶯の来るよりとて来もむかのうらより　内匠

裏微加花二
さゝわかる都へ出〳〵ちる大洗ごりのゆめ　上毛宝雷　事成

裏微加花二
ちるこゝへ出けど都ふとぐまるハまゝふ浮のある年ふて　万事馬

裏微
入るる年も法師ふ法師ふ法師ふ　島人

裏微
川邊もとけくるとゆへバ又ぬうるこゝゆまゆこゝん　越後新潟　琴吹

奥出羽代田
ちるこゝへ出けど都ふとぐまるハまゝふ浮のある年ふて　竹長

出羽産内
ちるこゝへ出けど都ふとぐまるハまゝふ浮のある年ふて　二葉

陸奥半田
一枝の花ふきのゆゝとゝ年とゝ年とゝ年とゝ年とゝ年　真富貴

信濃更科
都まで一枝の花ふ来〳〵まゝ来〳〵来〳〵来〳〵来〳〵　真琴

神の代はまことにかしこきものなれば家ごとに物をなすことあるべし　仝

まことにも揺もあるべきなれば人のいとのどけうゐ　仝

ちりこしへうけくやくとて歌のあるもうるきいづまりべの　奥塚原　真杉

世の人の乳のもとうふかるまことはり歌ばかりまことにまつるゐ　金　益

歌まで茅里ちあることと歌まのこうよりてえん毒のうづを　陸奥気仙沼大浜　貢

横平に帯を引つ立て解もまぐでやまのいとぎまつらん　仝

入歌る幸もよとうたまぐと和歌へのぐまことにめぐて　信濃神代　歌名

まことうといつぐまあや吉世横こまも歌の横を引物　岐阜　真竹

ゐのもきゐまでやくまのはのこけいつぐもうるん　出羽新庄　杉守

天のたはのうあるまをこうとまを人のいつふのうるん　仝　繁技

去幸はを洗ひ池ーまく方茅の毒絶の神もえうへうまを　名古屋　友延

和歌神行まうを去年のまく稽もとうびまやまつるん　信松本新田　宜

和歌神まちひまく帯細く背ゐぐくのまうを来ふまうり　奥泉折　賢久

ままれば横揺うを皆人のんの答まゆ冨まうり　仝

双一

歌稽より歌程ハとけくまハ今歌まうくとのを落るゐのう　仙台堂　御代風

この落ぬる歌のうふ幸をとりゐ今く来男の報よ入る まを　周防　山際

吾まあるりまを歌来ーまをこ別びば歌のひは茅ゐなるん　出羽庄内　春樹

をの戸をなけふまどりふ咲ふ宮まうを大和の国ぞまをゐ川　仝　真牛

まを歌ままびば杉まをまうまふ人のんは来まうを　米次

毛のまへし草薙をまをまを歌の人茅ゐまるまハまゐり　信天神林　真水

門松のまを低まを揺ゐくまを歌あまうゐ母の来まを来ゐを　上徳川名　真栄

ゐをとのをまをまうゐけくゐ宮殿より祈めきし大江戸のまを　草加　早丸

いのもまるまうくをもうゐ人ぞ都へといをぞるまをゐ和歌のは　糸頼

吾まあるりゐ歌来まをまのをまうゐより歌の咲ををの江　常陸笠間　光貞

歌へとまをのいをげばまうゐんでうゐとぞ吾る和歌　出羽米沢　魁

取まあーまを来ゐかーーまうゐ歌ゐまのまゐん　下総小見川　宿也

目妙加花二　歌まを楽まゐれどもまをのをぞバ又姉をゐ咲まゐ歌れぞうを　冷了

目妙加花一　まゐ水を浴んとのぞまく井の底ゐまハまゐまをよべバまをへい　水戸川浪改　春俊

出羽 山形 千 積
長岡 吹 成
松本 新田 三千 麿
信濃 田井 杉 門
仝 鹿教湯 鹿 國
紀伊 若山 花 守
愛 丸
仝 下 美
陸奥 平田 真富貴
甲斐 市川 真 河
相模 三浦 若 根
仝 奥 會津 三千 丸
仝 川又 魚
丸

常陸 下館 棟 成
上毛 前橋 真 國
京 供 守
常陸 麻生 吉 槻
万 事 馬
内 匠
上毛 室田 事 成
甲府 久 麿
真 杉
陸奥 米沢 山 文
仝 金 美 都
陸奥 気仙沼 初 遊
仝 真 琴
未 佛

[illegible]　信濃神代　歌丸
[illegible]　仝　歌名
[illegible]　岐阜　駄山人
[illegible]　仝
[illegible]　仝　真竹
[illegible]　越後福道村　下人
[illegible]　白川　水野
泉川[illegible]　新庄　繁枝
[illegible]　名古屋　田鶴丸
[illegible]　仝　真歌
[illegible]　仝
[illegible]　仝　秋津
[illegible]　仝　友延
[illegible]　甲藤木　仲芳

双三

[illegible]　甲府屋敷　商人
[illegible]　仙臺　幾代澄
[illegible]　仝　好成
[illegible]　仝　島道
[illegible]　盛岡　罠牛
[illegible]　仝　峯栖
[illegible]　吉田　元衣改　元照
[illegible]　満守
[illegible]　雛秀
[illegible]　山形　真青
[illegible]　長岡　入
[illegible]　越後釋迦塚　雪人
[illegible]　甲府　亀雄
[illegible]　仙臺　真根人

鶏ゲ[illegible]く[illegible]を[illegible]く[illegible]を[illegible]人の[illegible]も[illegible]ゆく　桑折　金文
[illegible]を国[illegible]知て[illegible]と[illegible]ゆ[illegible]水　房小町　譲
[illegible]る[illegible]を逆[illegible]る[illegible]を[illegible]ん　福養
去年[illegible]ふ作日る富士八時[illegible]の風ふけう　柿人
[illegible]ゲ[illegible]きを八[illegible]と[illegible]の[illegible]を[illegible]ん　仝
起[illegible]せ[illegible]を[illegible]て[illegible]去の[illegible]そ[illegible]ゆ[illegible]る　奥の内　山近
年の[illegible]む[illegible]の[illegible]を[illegible]を[illegible]を[illegible]の[illegible]ゆきとぞ[illegible]る　親覧
[illegible]を[illegible]で三角柏の[illegible]ふ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　常陸絣田　豆人
年で[illegible]ふ[illegible]ゆけども然人の[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　出羽庄内　秋穂
[illegible]風ふ柳の数八[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ去八[illegible]ゆ　仝山形　岡住
[illegible]ふ[illegible]ゆ初日八門松の[illegible]連ふ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　奥白川　酒盛
伊勢の海底[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ初日[illegible]ゆ　上総富津　照道
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　仲住
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ去　仝　有安

出羽[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ去八[illegible]ゆ[illegible]ゆ　仝　千代丸
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　近湖
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　梧風
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　出羽庄内　真牛
初[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　諏方　金家
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　仝　清水
門[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　桑折郡　蔭
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　駿府　直
年で[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　仝　蔭
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　津　弓猟
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　奥岩城　十字街
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　真酒影
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　信濃洋　真剛
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　月友
去年[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ　目積

宮人の子日に小松引ぬくは腕の力もまさるなるべし　水戸 詠筆

玉箒に添へたる松なれバ人手にかけて根を出しけり　大坂 春樹

昨日より今日ハ子日と数へしがけふぞいつもの松を引ける　若柴

初子の日いづくはあれど陸奥の姉歯の松の枝を引らん　氣仙沼 初遊

子日とく松高くある野辺に小松たてる白妙の日なり　下毛大田原 春文

子日せん野辺に引くや姫小松車の並ぶまた花宮人　信濃稲荷山 行宣

立添ぐ子日の野べの姫小松もろ数多く根をも引松　奥白川 閑根

子日せる野べは小松のうごかざるハ霞が引ん引げばかるべし　駿府 直躬

数ならでも春をむかへん子日せ子ハ小松を姫君人等も　奥福島 三千春

人柄ぞそつりゆる相生の頬せはすつ春の小松引いとく　全 二本法師

常盤の神の中の子日の根ところもるを引く小松かな　駿吉原 素顔

子日せる小松の腰をおさへて千代の寿の末ぞ見ん　全

幸ハ手をもかるべき小松根引して猶も大きな宮ぞ呼る　名古屋 一馬

若代も玉の緒長げ初子の日引くる手とる志賀への姫松　園丸

子日せる野べの霞も海原に海松のまじる小松引くかな　全 糸長

根ざりつく小松を引くと尻もちに隣の桜がの宮を待ける　水戸 千万多

宮人の小松引くる八日前に子日の根のびと共に千年　全 葉並

姫小松引くを根ながら例ある男松も神を引ぬらん　全 千垣

子日せる春の総人姫をかで引く京の花姫小松かな　仙台 幾代磨

子日せる小松を車にまでも引くやくるまの内も野路　甲府 三春

初子の日ねよとてそと風の音に松やさそへん引くの山　桑折 高持

神も又子日の松に引れ出でくいふ八千代ある根ごとくせん　出羽和田 涌住

子日せる野べの便りに見る松を植んと庭の絵図も引けり　冨津 真浦

君が代の千代に引ん二葉ある松も数もちよく　長門萩 真々成

汗だ出し小松の野べにありせバ飽る春の風やかほる　庄内 吾丸

初子日根まづ床の間に根のびて先づ見るとを引ん　全 二葉

子日せる小松の野べにうれ出て浜の松引く春とそ見る　松本新田 長盛

立並ぶ小松も引んと出まるにいつく千代を根ざさす　全 勝人

[illegible] 水戸 比羅久
[illegible] 信八幡 鳩人
[illegible] 下総小見川 浦住
[illegible] 武蔵草加 角芳
[illegible] 仝 早丸
[illegible] 千住 街
[illegible] 仝 青梅 喜代住
[illegible] 内匠

霞

波那細 [illegible] 菴の [illegible] 高畑 千枝
[illegible] 岐阜 駄山人
[illegible] 真冨
[illegible] 真臣

常恒
[illegible] 戸塚 若年子 桑折 賢久
[illegible] 訥方 真石
[illegible] 常陸麻生 歌志久
[illegible] 下総左原 杉盛
[illegible] 上総芳野 茂方
[illegible] 仝竹ヶ岡 道規
[illegible] 下総水戸射 歌廣
[illegible] 陸奥會津 貫戸丸
[illegible] 仝川又 桑蝕丸
[illegible] 上毛前橋 真國
[illegible] 甲府 久磨
[illegible] 市川 大路

紫の霞はたてど武蔵野の春をつゝみて来る振袖　柔折 伊達彦

藤浪の色より深く霞みけん田子の浦波春かよふらし　仝 真武

釜のかる音信の井ふさ模様の霞の二本はくべてかけおき　仙臺 唐丸

飲人の行かふを今日も又招きて来るや紫乃袖　仝

屏風岩霞の衣さ模様のかけし目かくのさぞへあるらん　信濃萩時 月成

後文字ハ霞の湊と詠まれつゝ船の中も薄く酔ひなん　出羽新庄 月彦

落ちてくる雲ハ霞まし春の箔は新ぼらしうも　文成

宇治より漕ぎ抱へて唐人も霞の衣をさぞやめづらん　駿府 大門

梅桜あふ月借の争ひをさせじと霞中にとるらん　奥福島 益人

せんかしを住吉へ出し月を隔つる春を霞へくる雲あれ　名古屋 三千春

春の霞の衣ハさ模様のあふ田子のさぞの抱へあるらん　釋迦塚 鬼影

紅の霞ハ風に吹かくれて春の衣はまさにぞ見ゆる　仙臺 雪人

文臺の並べて春の店ひらきまづ一の富に霞てりえ　柔折 真根人

の船を霞男を引入れて小浜の氷帯をとくらん　賢久

大かたの雨の袖にうつくしき霞隔つる春霞かな　鳴音

きりゆふ正しき春の初霞さぞ仙人もかくやあるべし　仝

見渡せる山かすみして見渡せるしきを作る春霞かな　庄内 外成

衣ゆを帯にかける春霞足揺よりたてそくりえ　仝 春樹

初霞袖志ばらく見ばかえそうだにづくが本の末は松山　真剛

あぶ野の春は曇らバ追ふにも霞の袖は内よりぞ出る　下総佐倉 真冨

春ふく霞のさ姫を招つる声のぶ山ハ落く見えけり　千住 美種

浮風に吹かれてもこりずまに霞の衣松に掛けてき　酒持

あまへと居の海をいづらと見れバ霞に消ゆる狗ふみ　善直

目 奴加花二

霞より色の衣のとくると春日山衣郡にかけし紫の衣　伊勢桑名 由刈

目 奴加花二

招ける霞の衣吹きさらし杉を掛けにさせ月の影　甲府 呑吉

目 奴加花一

梅が香を入る中袋ぬひてかし霞の衣は手も限りなく　柔折 山文

天女の菜つみてや洗ふらん霞に酒る玉川の面　駿府 益人

雨去ぞさてこそ扇らん海原をかびく霞を後帯にさく　大田原 真寿躬

常陸川に家ハ細長き常ともゝゑる越の白山
目録 大夫を親といつを仏人の家をいつく家あるまゝ

越後新潟 真稲
上毛赤城塚 子亀
甲斐市川 常道
そこのこゝろをもとゝ孫なる家の海やほさくべん
あ房上総 後ふいもとゝ家ハ大きゝの紙のうゝ家うゑ

信更科 真琴
仕侍船の家ゑ紙のゐこゝろびハ風のこゝ出ゝりうん

数成
全松代 美酒
家ふんゝ一形庵ゝれバゝれもゝ董のこゝふ家むゝ富士の

相模大山 兼安
岩ゝ山のゝゝくゝゝゝゝゝゝ家ゑ紙ゝ家ふゝり

常陸麻生 歌志久
持ゝ家ふゝきゝの初家ゝ家ゑ山のゝゝゝれ出ゝん

全 萬都春
仕侍船の家ゑきゝハ山の孫ゝゝ海のまゝりむゝも

前橋 一岱
新ゝの家中ゝ家く一節ふ家華ゝ家ゝのゝ船

大坂 春樹
家ゝ山の家の紙をあゝへゝくゝゝゝゝ孫び耳色

魚人
武家紙をゝりゝけゝれバ移ゝ根ふ家のきゝをゝれる大夫

花垣
家ゝけの孫ゝゝ初家をゝゝゝれゝのゝれなゝゝん

甲府 千朶
山くゝゝかりぎのゝれをゝゝゝびゝをゝふなりくゝ山せゝゝ

甲市川 大壽
橋稲陽家くゝ三一陽陽ゝり松の稲ふかくゝ家ゝを

奥保原 隣
ゝの川ゝ紙ゝ家の紙の貝をゝれをゝゝ家ゝのゝゝ

桑折 真友
家紙ゝ家の海ふ家ゝのかりゝをゝゝゝ富士のの

塚原 金益
ふ家の梅ふゝをゝゝふゝれをゝふゝ家ゝも

桑折 見詰
ゝけ孫ふ孫ゝけゝ家ふ例ふ家の根をゝゝゝゝ

気仙沼 美都井
家ゝゝ家ふゝ家ハ富ふゝ家ふゝ家ふ家ゝ家ふ家

仙基 千係
紙家ふなゝゝゝゝゝゝ家の紙ゝゝふゝ富士

戸塚 真仲
家紙ゝ家の海ゝ孫ゝふゝゝ海ゝ家の移文辰

全 時春
ゝけゝき家のきゝのゝゝゝゝゝゝ日のゝゝゝ海ふ孫の家へゝハ

岐阜 真美
陸奥の紙くの陸ふ家ゝゝゝ家の家ゝ家の内ゝゝ船

美濃笠松 花人
家ゝゝ孫ゝ家ハ海ふくゝ夫婦の中ゝゝゝゝゝ家ゝ

信小舟山 穂鳥
日の家ふゝゝれる富士をゝゝゝへ家ハ紙けゝ孫ゝゝゝゝ

越後福道村 國人
ゝゝ文ゝゝゝゝゝゝ代の海ゝ松ゝゝゝゝゝゝ家の海人

奥白川 折鶴
ゝ船の家をゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ川の家ゝ邦

全 酒盛
出羽新庄 為長
全 常雪
奥福島 色音
三千春
全 梅盛
全 伽羅丸
相澤柳 真影
名古屋 真辰
仙臺 影好
上毛榛名 幣丸
盛岡 春音
松代 秀雄

相模谷真柄 豊磨
真長
山形 珠衣
全 茂里
長岡 熊取
竹住
今井 入船
丘守
甲斐今井 文雄
出羽寒河江 積見
清丸
冨津 直蔭
全 喜楽
蓼雄

庄内 二老
越後吉浦 濱住
諏方 呉鷹
松本新田 勝人
會津 市照
水戸 渦巻
鳥取 真静
信州倉川 常
仝 牧布池 真鹿
仝八幡 三枝
仝市村新田 直成
仝塩谷田 真澄
仝八幡 千鶯

仝村松 厚志
上総川名 真米
下総小見川 梅丸
武蔵草加 種
千住 里元
良村
仝
水戸 幸秀
青梅 芳文
越後新潟 真稲
仝鐘近改 廣家
仝
仝 仲澄
仝 重好

金村厚裕　正穂真川厚裕　正穂真川見川　武蔵梅見川種知　千葉里住　良　戸　水戸梅幸　青　越後新潟　公　廣瀬貞吉　廣瀬貞吉改稲文秀　材元丸丸米志

金　金　金　重仲　好澄

清出るたうの葉にそなるあり又そこに水の底の沖に新しく　常陸笠間　芳文

風の見えあるやうにしほの底き葉の紅を色そそ　駿河江尻　岩門

梅の花ふきこしてよくこそ匂ひもつき来る白山の郭　雪奇

篤

求那袖

去とつくで月のまでかをあふすすぬめこそ篤の歌　島人

緑なる底をひろひくよこそ新しくけある歌の篤　京　真恵美

裏徴如花三

うらみすまるる去の歌篤の餅よりどころ　奥三戸　真史

西の日を人年とつくで去経もこそ五ぶ方ふ篤ぞなく　信州　水雄

みのよそそそでん篤の中ふ月ともまりの篤　一ノ関　直行

新のせーー東梅ふ篤の新ちの篤のこもりてそう　鳴音

梅の可ふけたぶる時よりも出来ふりの新篤の新　奥成

篤ちの風ちを知らくくふ人来ちくくこそひしむ新　寿米流

ちちを絶のちちの新ちちもの新ちくうちちの篤の新　采折　市住

裏徴如花二

篤の新ちをのくくちの月よこそ風の新ちくくちちの新　御空

法華経ちの四ちふの新ちの新ちの新ちくくちの新　常陸麻生　真郷

篤ちの月ふ新ちの新ちの新ちの新ちの新ちの新ちの新　花路

新ちの法華経ちの新ちの新ちの新ちの新ちの新ちの新　名古屋　香久美

梅の新のつよの新ちの新ちの新ちの新ちの新ちの新　山近

裏徴

ちの篤ちを接ひあり来ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤　千住　街

新ちの篤の新ちの篤の新ちの篤の新ちの篤の新ちの篤　信州荷山　泉

篤ちの年ハどもちの篤ちを去何ふちの篤ちの篤　大道

去の新の新の新の新の新の新の新の新の新の新の新　甲市川　真河

篤の篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤　全　三成

篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤　麻生　歌志久

篤の風ふの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤　水戸　春江

新ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤　万事馬

篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤　陸奥八戸　星影

篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤　全柔折　山文

餌ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤ちの篤

信神代　歌名
美濃笠松　真倉
全　氷解
宇都宮　苔持
名古屋　全　田鶴丸
松本新田　竹光
下総　真鬼
河鳥
東夷
桑折　高持
出羽寒河江　要
山形川住改　真根苗

仙基　照道
御代風
近湖
左内　招風
全　元季
諏方　出羽住
松本新田　高根
駿府　蔭廣
弓獵
雛丸
信三井寺代人　真剛
土佐川名　真米
物築

屋風ぶきの山もみなとの松かぜもかすかなる
ねぶそぐ紀ノ国の御代風
近湖
招風
元季
出羽住
高根
蔭廣
弓獵
雛丸
真剛
真米
物築

[illegible]　　浅方　大門　真春　善直　芳文　真丸　美々賴　真友　真琴　月窓　葉廣　友延　幾代記　猿

[illegible]　　真榊　美種　蔭友　真杉　湖好　人蔵　歌綱　栄之助　愛丸　古琴　弘器　真丸　美住　鳳管

[illegible]　　真榊　美種　蔭友　真杉　湖好　人蔵　歌綱　栄之助　愛丸　古琴　弘器　真丸　美住　鳳管

常陸麻生　歌志久
仝　愛也
甲市川　河口
水戸　有馬
京　末武
南北
上総刈屋　安留
甲府　繁覚
仝　寐二水
仝　市川　垣廣
奥二ノ袋　金鷹
仝　金柔折　真鶴
仝　歌芳

仝　見詰
気仙沼　貢
仝　御代門
大田原　春文
長尻
石水
岐阜　駄山人
笠松　水解
信州荷山　行宣
越後南新保　雪政

仝
白川　酒盛
仝　関根
新庄　清樹

[illegible]

全　駿府　満枝
名古屋　直古
水戸　鬼影
仙臺　雪童
盛岡　小綴
下総　實乘
吉田　生盛
全　千善
神奈川　元照
長岡　見俄和
全　起人
全　吹成
全　竹住
釋迦堂　雪人

[illegible]

[illegible]

道則
全　飼別
今井　入船
上今井　丘守
甲府　成山
全　春路
甲斐　千盤
甲斐市　百夫
奥州　田辺
柔術　高持
上毛　尻高
岩城　春栄
上総　豊春
寒河江　秋井
岩城　正
嵯峨　浅井

全 試藍
山形 岡住
上総富津 松支
全 松丸
越後柿崎 全 瀬踏
仙台 御代風
庄内 募雄
訓文
全
全 元季
全 二葉
全 豊俊
全 水三成

米次
松本新田 信 長盛
信 松本 孤月
水戸 豊翠
全
信式部 房守
全牧布施 真猿得
八幡 里也
全 真弓
信度敬湯 鹿祥
全祢津 水哉
下総寒川 滝呑
全上岩槻 美摘

[illegible] 良材 越中野 真咲

[illegible] 全 青梅 喜代住

[illegible] 市住

[illegible] 古呂頼 越後新潟 后人

[illegible] 全 増女

[illegible] 全

[illegible] 全 濱道

若菜

裏徴加花三 [illegible] 梁所 御空

裏徴加花二 [illegible] 春 則

[illegible] 出羽和田 水

[illegible] 信州伊那 常川

[illegible] 青梅 布土 岐

裏徴 [illegible] 千住 街

[illegible] 甲斐高田 河安

[illegible] 全市川 常道

[illegible] 名古屋 弘器

[illegible] 信州代 美酒

[illegible] 甲府 久磨

[illegible] 内匠

[illegible] 大坂 不美人

[illegible] 仙臺 唐丸

[illegible] 越後福道村 花守

[illegible] 駿府 直古

[illegible] 仙臺 小猿

若菜つむ妹が袂は若ゝある人に背中をそゝくちやされけり
松本新田 宜

はじめにハあるかとかゝる程の目にそふ若菜もつめバあまるかりけ
春則

春かぐに実に大江戸の初若菜都路まで名だゝるさ代
満守

摘よせぬ去日の野辺の雪とけて若菜つむ也袖にあふかな
三羽

女まじく摘に出るもバ初子の葉七草の名ににほふされけり
嘉詞子

そこぞくの所をあるひく妹が袖も若菜のやうに雪のけかなり
白川 酒盛

野の雪様を引く妹が籠と若菜つむ袖よりこぼれけり
鳴音

これをも惜く若菜ハつゝとみん霞の袖と梅が枝 笠
苗原 弥廣 鑓改

七種よ手籠の袋ハ引きき屏風かくれも交く浅葉をぞ摘
冨津 得絅

お女子がからりと籠を籠の行日にハあるまでしろの雪
松本新田 繁

日なくりハ出るもかれしくあるさとのつゝ行しるゝ若菜をぞつむ
佐倉 美種

かきそけく若菜をつめバ水つく雪中よりこぼれけれそる
芳野 浅方

田舎より江戸へ来るも若菜をバよるの背かりそつくにかゝる
花守

若ぐるつゝしの若菜ハ武蔵野世にもなしとあるる山をあかゝる
奥成

まち出たるかりと咲し出せ花にさきだる野の若菜つむらめや
新潟 廣家 鐘近改

目妙加花二
若ぐるおのれが名とふの也まむまおもしろく君につむ若菜かな
佐原 杉盛

目妙加花一
春の野に都ハのこる雪のわざつや嫁菜のかぶる綿帽子など
上毛藤塚 蔵人

消残るにぬるゝ袖そへ初若菜摘ぬぬさなの野さし初あかり
會津 茂雄

初子の菜駿河細工の籠につむ也や富士の山となる程
嵓 苔園成

若菜つむ籠を菜にたとへぬる垣の雪とふ人やえらまん
白川 水野

数ならぬ根を佐つけし名の野をさかに娘さへ見えぬ根芹摘なり
梧風

目妙
若菜をバおかぐらのくつむ中に嫁なぶつむ衣でかりき
上毛狸塚 高成

浮ぐるに菜つまんとぞ君にも文めでゝのまん浅沢のを
萬象

深雪のまだ消ぬ浮にすりこの妹が袖も横にあゆみて若菜つむなり
甲市川 三成

摘よむる上への粉しもありしも悪けりを菜なりしを
仝 常道

薄氷はつゞくみに也ゝもとぐる根芹ハ摘とてこずし
上徳菱田 美袖

大宮の女もさの若菜をあられなさげるてものハぢめやとし
水戸 洲長

青柳の姿にかよしの世振もかく芝木ぞわく若菜つむ後見
南北

[illegible]　大坂　不美人
[illegible]　甲斐　二水
[illegible]　半田　貴丸
[illegible]　柔術　見詰
[illegible]　仝　真武
[illegible]　気仙沼　歌潤
[illegible]　大田原　春文
[illegible]　菊俊
[illegible]　岐阜　真美
[illegible]　大坂　金糖
[illegible]　名古屋　真和
[illegible]　仝　真鎮
[illegible]　仝　園丸
[illegible]　甲斐木　耕人
[illegible]　小倉藩　商人
[illegible]　水戸　春道
[illegible]　盛岡　常恒
[illegible]　吉田　千善
[illegible]　出羽山辺　目久美
[illegible]　長岡　山入
[illegible]　越後釋迦塚　雪人
[illegible]　伊勢宇治真平改　家芭
[illegible]　仝獅子丸改　高國
[illegible]　奥伏黒　竹廣
[illegible]　柔術　賢久
[illegible]　出羽宮内　文雄
[illegible]　一七

全 和田 浦住
全 名苅 継
出羽宮内 掉丸
冨津 年子
仙臺 御代風
庄内 喜丸
全 真猿
全 真牛
岩城 真酒彫
内匠
三ツ井 真冨
牧布施 千草
千住 米員
佐原 杉盛
小見川 浦住
糸頼
光貞
真春
福養
中野 肌義
千住 真咲
笠間 蛙丸
京 梅寿
供守
冨津 千代丸
桑折 真武

裏機加花三

残雪

仲秋も残りすくなく消ぬる雪は淫業やどて入るゝ
弥の代を見るまの汗湯ゆ出さくあるを仲ノ形

麻生 歌志久
八幡 曾代人
半田 真富貴
京 真恵美
駿府 直古
房小町 琴富貴
名古屋 鬼影
諏方 量
一ノ関 折香
上毛篠塚 桐正
市川 真河
川崎 鳳管
麻生 益水

水戸 月丸
千住 街
市川 河清
桑折 廣主
半田 麓
桑折 吹成
駿府 頼方
信濃新田 月窓
新庄 真柴
仙台 其遊
吉原 樽人
水戸 復春
仙台 真根人
福島 清人

[illegible] 出羽寒河江 似毛
[illegible] 庄内 二葉
[illegible] 仝 春樹
[illegible] 仝 友成
[illegible] 訓方 泉
[illegible] 信小平 羽丸
[illegible] 肝倉 川常
[illegible] 長門 萩
[illegible] 文雄
[illegible] 松代 千税
[illegible] 越後中野 真咲
[illegible] 出羽米澤 御代経

梅

波那細 [illegible] 神代 歌名

[illegible] 桑折山 文
[illegible] 裏徴加花三 梅[illegible]
[illegible] 人
[illegible] 中瀬 金俊
[illegible] 桑折 金文
[illegible] 気仙沼 歌嵐
[illegible] 岐阜 真麿
[illegible] 信濃牧蒔 陀房
[illegible] 松本新田 宜
[illegible] 高畑 千枝
[illegible] 桑新田 三千麿
[illegible] 大門
[illegible] 真直
[illegible] 裏徴加花三 [illegible] 宇都宮 為持
[illegible] 裏徴 [illegible] 信濃仁熊 真村

細雪にさへ絶ゆらん□□□へ吹く東風の風は梅が香
こき交ぜて梅に一枝をかし小袖 枝ぶりまでの匂ひありける
梅見んと我も紀の浦ならぶ山里にありしば向くぞそぞろ
花の絶し そぞろにほころぶ梅のこぼれぞ袂まで薫りける
花の香も薫せる梅の匂ひ東風ふく家に芬と匂へり
梅が梅に香らんとすれども此花は上風と香を盗む
吹きおろすふく風の手にこえて咲く袖の梅が香
我物と思ひしもしれぬまで西の袂に香りける梅が香
おほくの鶯なく□の名に香るなりぬ二月の梅
咲き初むる□□に似る鶯なくなどてかく雪の色せば梅さへ八さく
我庵の梅がかざしてかばかりと□の色や立ぬらん
春の日に香ひくるものゝと月はさらに梅も咲きぬ
まだ冬も絶えぬ風ものゆく□□の尾とてかくも薫る梅が枝
咲きそめて枝に白妙の花つゝめる梅しも春のうつろひ

若山 下仝美
常恒
上総茂田 萬象
常陸麻生 恒澄
上毛前橋 真郷
暗記
仝 入
柿安
上総刈屋 呑成
枝文
杀折 金音
仝 清音
仙臺 唐琴

花の香をせし枝はさらにあらば梅が香を吹き寄せる風流士
香ぞ散る時袂をし袖を絶えれば妻が袂も梅のうつり香
霞む日は落ちくらしとて隠れ家の梅は色ある心やとりぬらん
いかにされし梅の香りはさるれど低き鼻にも入るとなくぞ
嬉しさにもふく風も届きてつまむに似る袖の梅が香
梅がくつろく這入る小笹垣 梅がかどの風のさそひく
三栗の中川の梅右をさどもむきそに袖はきつく
梅が香も庭へ移し時にしそ消えし香をもれ袖のくぬれ
月のごと雪とともく梅が香はいなくぞかゝりまやあらん
朝日さす床に香る梅の影見えそ家の庭に薫る梅が香
ひよりも高く薫りて花をさとむる梅が香
さとの宿に流れく行へとさすがに風の梅が香
風さそふ梅もさらに香は色あはれの其へはなし
作りでもよき花に香りは身を侵み入る花の梅が枝

新庄 清統
美濃笠松 美鳥
信萩蒔 月美都
新庄 真柴
仝 杉守
大門
吉原 素顔
名古屋 真歌
甲小屋敷 酒少々
竹光
松本新田 宜
氷守
下総 友俊
吉田 千善

我のことおもひに又引遠み人の袖中もゆかしみ梅が香　仙臺 真根人

行きれにふうすがおまくに也れ哉の袖中もとまる風の梅が香　一ノ関 親覧

白くと梅にさられてふる年の雪も消て治まりせせ　仙臺 家上 豊秋

春の招だと尋ねまる梅が枝の也の香をらくも梅か　仙臺 房丸

梅香る梅の木香も見に治む風も見せき物とそ志れ　諏方 金家

らひにふとぶる加へバ錦繍の梅さく庭にいつで神とらん　仝 月好

らむ源に辞くハ紅も涼しく枝折られる梅の香　仝

梅が香の花に記れやとよ世中を桜ほどに人の香をぞれどよ　松本新田 三千麿

寺の空をらぬさく遠入る梅が香に立ちる花の来るぞ舞かく　岩城 真酒躬

見バ白ひぬされバ白入の家紳の梅が香やおふ仁床のれぞりなき　磯名

春貸ぶ春の鐘入梅かうバいまくまくとし梅が香　信 隙内子

梅が香ハ遠きをもとく出ぞ春風中そうとさされるとも　式部 直成

ゆくまでにかんと梅に泉ひをとされ袖に全とく歩まり　千住 真榊

春まで留守のと梅よ空の香ひの雲ゆくよれと此影にまつ　仝 東太夫

春風の家ぐも袖にふけば志賀の浦の堤も中ふる梅が香　信 良材

春の宿と申しが此頃は人さへとむる世頃の梅が香　松本 見鶴

目 紗加茂一　人の袖かりに来つるハ夜こけて春ひそかなる枝の梅が香　吉原 景顔 真山

家人の折くらさせバ神家ちる其の年と見ゆる梅が枝　京 供守

ゆく人に消こく志ぞ宿もりむかし又春風のちそよ梅が香　深見 真群

難波津の春を竈の煙より民皆とかる袖の梅が香　松本新田 宜

目　とり家波地紙家より後ぞく梅日和に白ふくうめが香　神奈川 連

春の吉紀色もの中ゆかしき初暗の梅をおどろかすらん　氷沢 朱人

行歴る枝切んとすれバ桂本色が神にきざれる庭の梅が香　千可 喜

えみ行し我を送りく枝仁をと家までつれくまつる梅が香　庄内 二色

梅が香の此袖に脱まる時しきハ振くさくもつまれまえり　川船

浪花藩梅を思さく杉田の梅林つゞりてきれ此風の色も香　福養

目 紗　源入しやくよ扇の地紙家よせバ見ゆる梅秋の梅　越後中野 真咲

先白き空ふる行中此頃が家に人のとがむる影の梅が香　青梅 真丸

梅さけば立めぐりしかをの中ふちをのこのそもまてあく　越後今保　苗子

まとり来る風をとあをぐふこゝのれば春をそ春をまる雪よ梅ぐ　数成

立毎のをのふるりを風風くをくを春をぬ彩の梅ぐ島　市住

白くへのをの梅れ梅のつげも梅をくをくをくを梅ぐ島　巖園　苔成

降月をよん市梅の梅をくたちくをもちくをあるを梅ぐ島　人成

ゆるをの春ををくをひて遅ををおのを春し数の梅ぐ島　土毛前稿　暗記

をを梅をを春をとをんををバ風ををび雪をも春を引ををを月をを　全　夢成

梅ぐ島春春をとをるをを雪風の雲の日を動くく時をを　水戸　自多楽庵

人月をををびをぬをりで柳より風の自をふありく梅ぐ島　全　雛栖

梅をををく神れバ神ををれてを月ひををさぐ人宿の雪彩　全　洲長

面白く彩波のをふ月ををつをの月のををもをを梅ぐ枝　安房大里　珊子

被をもををを神をふをつをれぞをををしをる雪を梅ぐ　信濃貫川　一文字

ををれバ動をををををりををん船後ををびをふをる梅屋　柿人

彩をををる人をををををををん梅をををる彩の梅ぐ枝　魚人

神りをををををりををを風がをををひをををる梅ぐ島の宮　廣伎

雪風をを島ををを月をを雪り雪を神を白ひのををぐる梅ぐ島　房人

上総刈尾　吞安

上ををの月ををりを火ををを月の梅ぐ枝

室田糸成改　寿直

れ遠をを彩を白をる神の島を梅をの宮の梅りををしる

梅のをを月ををを月をを風をむ雪をやをを雪をを彩

陸奥二本袋　松俊

梅を月ををの月をを吹ををを月の星会の月を　真史

風ぐ月を遠ひを入をを神をを梅がかなを　桑折　見語

きを月を彩猿を彩も梅をくをを一を月の神の梅ぐ島　神代　米弗

雪風の雪梅をを月をを入を梅ぐ島ハ月ををもあを彩

梅ぐ島をの雪をを風の白雪月の雪ハを月の紅を月　岐阜　歌九

三年をぐ貢をを雪を月を紅月の里月梅ぐ島　全　駄山人

月の梅の雪を月を月を月を月を月を月を月を月を月を月を　新庄　羽廣

風が雪をぐをるををハ月ををを梅ぐ島を又をを月を　全　友鶴

ぐを月をを月を月を月を月を月を月を月を月を月を月を梅ぐ島　宇都宮　深樹

為持

[illegible]　越河　関成
[illegible]　尾張名古屋　田崎丸
[illegible]　仝　友延
[illegible]　水戸　真鐵
[illegible]　水戸　葉盛
[illegible]　仙臺　小鍬
[illegible]　盛岡　繁門
[illegible]　下総石出　幸國
[illegible]　吉田　真美
[illegible]　仝　道守改　恒雄
[illegible]　嘉詞子
[illegible]　晴俊
[illegible]　摩宇治　真義　家芭

[illegible]　上今井　久丸
[illegible]　向河原　一亭
[illegible]　仝　端文
[illegible]　伏黒　方住
[illegible]　仝
[illegible]　小町　琴富貴
[illegible]　鉾田　豆人
[illegible]　寂上　央
[illegible]　山形　麓住
[illegible]　仝　山主
[illegible]　和田　涌住
[illegible]　冨津　得佃
[illegible]　仝　千代丸

[illegible] 犬山 頂

[illegible] 梅の花を [illegible] 仙養河原に植る紫の梅 梧風

[illegible] 梅の花 庄内 真牛

[illegible] 梅の花 諏方 量

[illegible] 全 奥越川原改 関透

[illegible] 梅の花 一ノ関 山近

[illegible] 梅の花 下総古河 難歌免 苞丸

[illegible] 梅の日向ふとる [illegible] 真杉

[illegible] 梅の花 信天神林 曽磨

[illegible] 梅の花 全高呂 菴住

[illegible] 梅の花 全鹿教湯 鹿角

[illegible] 梅の花 全村松 厚志

[illegible] 梅の一りん [illegible] 信州佐久 水哉

[illegible] 門の柳ふまづよりく [illegible] 梅の花 下総佐倉 美種 照道

[illegible] 梅の花 全古岡 松寿

[illegible] 梅の [illegible] 常陸麻生 琴足

[illegible] 梅の [illegible] 千住 東太夫

[illegible] 中垣の梅 [illegible] 光貞

[illegible] 梅の花 年長

[illegible] 梅の [illegible] 真直

[illegible] 梅の [illegible] 越後下今町 實丸

[illegible] 梅の [illegible] 柿丸

[illegible] 梅の [illegible] 相模辺 年久

波那細 [illegible] 柳の [illegible] 名古屋 田雀丸

[illegible] 柳の [illegible] 風の [illegible]

松本新四郎 宜

小田原 弥 廣

裏徴加花三

大門

春則

萬象

仙堂 唐丸

名古屋 真和

下総佐倉 満守

武蔵長竹 行也

上毛狸塚 高成

上総菱田 大道

音芳

市川 大路

房寛

水彦

信神代 蛍

新庄 歌丸

名古屋 為長

甲斐兄 真依

永人

三河 米

高善 千守

金 金

金 石

真 史

技 成

蛍 記

浅緑柳ふ別る燕より風を枝をとゝ弱をざりうを　満守
鳴くの風ふあびけどまを柳社数を著のこゆあぞみてうる　真元（桑折）
ほるぎふ潜ぐうとえしハさ浅ふ眠う柳の新あをあれ　方住
ゆ入く柳をてうる燕くを浅るふえ面る蛍が弓数　若城正春
まうの糸ふ交をくふうをハ出ぐふ柳の紡とあうし　照道
蛍が程をよあども浅うを鶯の風を弱れぞ狂ふまを柳　冨津年子
ちもうもと乱の定まぬ風祭ふ柳も曲るふ如来けん　吉浦濱住
浅の面ふ泊をう柳打ふうを蛍のうづや餅なさぶうん　松本新田勝人
ものをあがやくふとまを柳の出ぐれを風の吹うをえ面　津十字街
をうの様ぶ申社青柳ををうをを流うとぞえる　天神林保鳥
ふ潮ふ行ふるうを薔薇社蛍の柳社赤やうをむうん　上総川名真米
浅緑糸ふうりけく板曝の帝ふ吹ける去の柳う　千住米員
面ふいく風ふぶりをう柳うしろ和社る三筋式　下総寒川滝呑
筆なうさをひやけうを風ふ逆うふ柳いぶう　万年馬

文二三八

筆をで高ふ交をれる多ふ風の柳ぞうさふ本ある　上総川名道越
初本をハ四ぐ数のうつてくうれふ浅ぐ柳なを柳う社　大門
ぶぐ代の去を柳ふさぶ数を結び髪ふ面をぬやをうさ　市住
まを風の髪ふ入ー柳ぶ面をつあをうを社筆柳う社　山近
去を川浅をうをつあぐんと古田の柳筆やふをうん　新潟廣家
青柳のうをぶりの潮ふ入るをのうを社る影も逆井の川　真直
数をぐふあぐ柳をふさ女をあるうをふうをうつし　出羽高畑真名富
目妙加花二ふぶばふりふねばふうぬを柳のいをうを社ハ風車なり　名古屋鬼影
ものをれど蛍ふえをうばを風のかれ義をとをつを柳　村松厚丸
目妙加花一のびるー蛍をふふぶぐれく柳や枝のを社ぶうをうん　千住街
まれるふのふを社をあををうをむのうをとうう柳うを社　信濃神代歌丸
社ぶぐーく弟ふりつうん眉れてうりくと眠るを柳　相模原見全
を風ふ住ぐあぐくふ弟ふうん柳の数のりくふ地るを　名古屋桃主
ものをむるの蛍社を柳とをを去のをを風を中ふー　真和

門もさす柳の髮のみだれ髮はらはぬ袖やなきぬらん　松代　秀雄

大井川春の新の柳髮これも清四とつべうりうもちあをむ人をもとしつれあやあをうり柳門は長眠る　甲今井　立守

風のまに眉根うらんうつてきぬと人のめづるまち柳　甲府　三春

砂川の風ふまち柳を洗ひそこ一日やうえ日ん　寂上　葛春

うらうとりまつるまちやく烟うきぎみ新の山柳うる　天神林　曾磨

やみふきらの濱ハまち柳花髮を刈ひ一髮や入ん　信吹上　風丸

目姿あくれども降りも留まりけられて風ハ柳ふこけうをもうり　草加　早丸

まち柳のふこれをもふ月をうるハまぐ塩の袋縫ぐや　上毛篠塚　音人

うらうるまちの日るの川濱ハ髮をとうぼきてうるまち柳　水戸村　月茶

為ぐ日を送りうう懸逆ふるう出の柳員作りせを　仁熊　真村

まち柳のゆうう板をも板をを光ふ板ををうふ　下毛佐野　一樹

まち風のさをふふれて枕ひあみ月のこ柳はいもくしまま　豪柳　御空

風の日ふ柳の月花なびうるまをを板をまちの手引やうう　甲市川　真河

柳濱の濱ま四為ふ樹をせて哲庫ゆも結へまち柳の髮　川又　盛丸

まの千まる糸柳月をて沖濱やふりまをふ青柳の新　麻生　壇樹

時ぐ影の化粧底ふ枝られて影の柳も員作りせり　仝　歌志久

為うんの樹ふりうう沖を接をぐりの員を作まち柳　市川　益水

ふふ海む月をとうんとまち柳の風のふうふ牧濱の池　前橋　真垣

ふ風の姿月をふまち柳ふ為濱月烟とをふ四　水戸　露滋

屋くうやもをうををぬふ為の百ゆ百びくまのまち柳　房大里　月丸

まの百花作ゆく弱のをををもつゆびくをふまち柳の糸　千住　恵顔

なる四ぬうまを毋のあふれ産を影ふをびとるまぐうを柳　上徳丸屋　街

かぐいろの百の乳房ふまぐもうり牧ふ柳ヒ　上毛室田　呑安

まち風ぐりつををとうバうつてくゆまををて月をふまち柳の髮　甲府　寿直

影為の為の為為せををぐふををふ青柳の枝　仝　千朶

竹井間井員ふうるまち柳ハ約紙の線とうぐ稲ふり　仝　實老

まち為ふ波ひ髮へ風の為くをうをと板ををうをまち柳　仝　水芳

甲斐市川　垣廣
信濃松代　水雄
全　緑
全　佐名鶴
八丁目　岡往
六立目　金メ
柔新　御秋
全　薄墨
全　真住
気仙沼　貢
下毛大原　景山
全　全
全　元住

駿府　頼方
岐阜　橘山人
美濃笠松　十恵丸
信州宮　石連
新在　真柴
全　友鶴
全　民風
全　文成
全　為長
全　色音
宇都宮　菊人
駿府　直躬
福島　六種園

全　伽羅丸
奥越河　中住
全　貝田　鶴住
吉原　摶人
相洋杉　素直
名古屋　真鎮
全　真辰
全　玉清
尾津島　浅藪
名古屋　有繁
甲藤木　亀抑
水戸　役春
松本新田　宜常恒

信坂木　真守
奥盛岡　潮来
繁門
全　麟馬
下総　総國
吉田　千善
真長
満守
安房中戸　塘
三羽
山形　雛秀
茂里
全　玉繁

出羽山辺書記　直竹
山形　熊取
千嘉雄　釋迦堂　雪人
松重
健雄
伊勢宇治　家苞
甲府　春風
来竹　真元
福島　女
仙台　百羽
岩城　駿丸
菊守

出羽寒河江　試藍
長居
照道
萩　真成
庄内　二葉
諏方　真石
桑名　蔭廣
繁成改　富郷
一己

夾
真鶴
秋穂

會津 梅唐
水戸 翠
信小平 隙内子 元丸
全 賀多丸
信嶋番 真澄
全 丁才坊
信高呂 賀多知
鹿教湯 鹿國
上総川名 真栄
草加 種丸
下総佐川 寿
上総高田 種俊

許半
千住 里元
全 鉄雄
甲府 鳴音
二水
冨郷
寿喜成
寿米流
開垣
青梅 蔭
新潟山 琴吹
全 濱道
駿河岡部 坂成
出羽二本松 亀住

早蕨

[illegible] 名古屋 真歌
[illegible] 市川 常道
[illegible] 京 真恵美
[illegible] 駿府 直古
[illegible] 新庄 清統
[illegible] 天神林 真水
[illegible] 千住 里元
[illegible] 篠塚 子亀
[illegible] 若山 愛丸
[illegible] 桑折 御空
[illegible] 甲府 久麿
[illegible] 仝 寐覚

[illegible] 信濃国 道之
[illegible] 名古屋 真・歌
[illegible] 山形 根彦
[illegible] 仝 玉繁
[illegible] 長岡 菊住
[illegible] 小田原 満魚
[illegible] 名古屋 真鎮
[illegible] 諏方 梧風
[illegible] 巣垣
[illegible] 花守
[illegible] 蔭支
[illegible] 大門

目録加花二
目録加花一

真直　岩城　暖丸　長竹　行也　山形　直根　高畑　千枝　庄内　二色　仝　友成　上毛野辺　亀成　水戸村　月盛　若山　下美　名古屋　不匱堂　麻生　涌音　千住　街　彼々伎

菊門　丸成　持盛　水戸　友雄　仙臺　小倉　安房伊戸　塘　長岡　吹成　甲府　千蟹　甲藤木　實　仙臺　近道　栄　水戸　信神代　歌　新庄　文　宇都宮　為　福島　木々　甲藤木　渋　丸　仙臺　龍　仙沼　信　新庄　文　宇都宮　為　福島　木々　甲藤木　渋　丸　水戸　友　仙臺　小倉　安房伊戸　塘　長岡　吹成　甲府　千蟹　甲藤木　實　仙臺　近道　栄

[illegible]

[illegible]

全 真根人
常陸鉾田 豆人
和田 栄主
柿崎 瀬踏
庄内 訓文
全 出麿
會津 栄次
良兄
水戸 葉風
松俊
信濃 節成
鹿教湯 今人
上総川名 有村
真栄

[illegible]

目積
草加 兼芳
寒川 金寿
幹長
光貞
真國
高澄
新潟 市住
柯光
笠間 幸風
松の宿

櫻

彼那細
[illegible]

[illegible]

真門
訓方 量

山桜さくらぐ　花ふうて　雅さくさけば　傳も　きくなり　大門
このゆふ　ひかりもんこのろぎの　桜山　桜　さくらぬと　ものぐ　石綱
ゆ　雅の　きせの　ものを　白ちふ　まこハ　ぬりあん　家桜　うあ　庁倉川信　常
三　きせ　を　潜　ものを　いひ　ゆ　の　人　を　桜ふ　金　かへ　ん　水串　哉
裏後加花三　戸桜　もの　郭　へ　巻ぐと　きやる　みも　もり　流　なり　枝　成
山桜　枝ふ　ゆ　ぐ　ぐ　ん　れ　る　桜　を　れ　る　張　の　巻　と　く　柿崎　渡　成
雅　こ　の　こ　ん　と　て　ゆ　ば　山　桜　ゆ　も　る　の　ゆ　れ　雅　こ　ん　梧　風
月　の　ん　れ　る　の　桜　咲　を　ゆ　を　世　ふ　張　さ　れ　し　ま　も　ん　ゆ　く　柿崎　音　成
三　き　雅　の　桜　こ　ん　れ　ば　山　る　が　宮　も　張　動　の　き　と　張　を　ん　庄内　出　羽　住
優　潜　塞　が　巻　こ　の　ゆ　ん　ぐ　桜　ゆ　の　動　を　ゆ　り　の　こ　せ　を　新潟　袖　女
花　る　が　ゆ　る　を　病　ふ　と　り　ま　く　る　ま　り　る　も　晴　し　桜　一　枝　折山　文
南天後加花二　山　桜　ふ　ん　ゆ　づ　け　こ　を　き　ハ　ゆ　ん　し　雅　ハ　よ　ゆ　ん　う　麻生　麟　馬
と　べ　の　ゆ　ふ　こ　雅　ん　ゆ　雅　を　ゆ　り　こ　ん　れ　も　平　ゆ　巻　ん　巻　ふ　千　金
海　風　ふ　波　の　白　ゆ　い　こ　ゆ　り　を　雅　ゆ　桜　ち　こ　う　と　ど　を　こ　ふ　真　剛

裏後加花
こ　ま　ろ　ぎ　の　後　山　桜　さ　く　ぬ　を　巻　こ　を　ぬ　沖　ふ　出　ゆ　ん　ふ　真　門
ん　る　人　の　見　ふ　平　見　ゆ　を　三　ぼ　こ　を　桜　ふ　と　ど　し　し　山　和　流　の　ん　若山下　美
山　桜　ま　ま　る　を　仲　く　桜　る　後　ふ　ま　ま　く　を　ら　ん　一　枝　麻生　歌志久
ま　ん　ま　ん　る　ま　を　白　を　こ　い　ひ　を　ふ　ハ　月　ゆ　し　な　り　を　を　全
数　つ　を　を　ぐ　れ　桜　を　柳　よ　り　巻　ゆ　し　し　女　と　ゆ　ん　水戸　春　江
一　枝　ゆ　く　巻　第　一　家　生　を　を　ば　を　を　を　桜　の　花　を　を　ゆ　姫　大里　珊　子
流　の　ひ　こ　ぐ　れ　巻　く　を　れ　ぐ　れ　ば　を　ん　も　巻　る　ま　の　を　を　ゆ　費川　道　文
を　ん　ん　の　ん　を　の　を　ま　ぎ　ま　ひ　の　人　ま　で　も　ん　ふ　ん　け　く　桜　ゆ　し　ゆ　く　柿　人
晴　る　な　ま　ん　ま　で　も　ま　ま　し　ま　で　を　ま　の　桜　ま　ま　を　甲府　繁　留
を　ま　で　ふ　人　遠　を　を　し　を　の　果　ハ　実　を　ふ　巻　る　晴　桜　な　り　全　呑　吉
人　の　い　動　ん　ま　も　ま　ん　を　流　の　力　を　か　ん　て　ゆ　を　れ　る　中瀬　金　俊
世　を　ゆ　を　る　桜　の　ま　ん　り　ま　て　ふ　ゆ　ん　と　い　ゆ　の　を　げ　ゆ　も　と　ん　柔折　金　文
ま　の　巻　る　桜　の　ゆ　ん　を　を　ま　の　ん　ん　を　を　を　の　山　れ　を　の　流　流　気仙沼　貢
ゆ　を　ま　桜　を　ゆ　を　と　ん　ん　ん　ん　ん　ん　ん　ん　ん　ん　ん　ん　ん　ん　白河　春　彦

桜ちるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　大田原　春文

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　岐阜　馱山人

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　仝　真美

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　新庄　真榮

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　仝　繁樹

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　仝　壽

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　大坂　金糖

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　下総　河鳥

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　山形　千嘉雄

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　長岡　茂久

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　岩城　暖丸

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　仝

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　小町　讓

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　上　家

さくらさくはるのかぜにちるはなのかずかずにまがふさくらかな　名古屋　鬼影

桜ちるこれぞ花のかずかずにあらばなげかじ　庄内　外成

なくなくもこのはなびらにまがふかな　仝　吾丸

なくなくもこのはなびらにまがふかな　駿府　出羽住

桜ちるはるのかぜにまがふかな　会津　喜代志

ちりぬるかぜのなかにうまれてしかもかれるこのみかな　仝　椎名

春のかぜにまがふかな　仝　大門

桜ちるはるのかぜにまがふかな　千住　内匠

桜ちるはるのかぜにまがふかな　八幡　東太夫

桜ちるはるのかぜにまがふかな　千　等

桜ちるはるのかぜにまがふかな　越後中條　巻文

桜ちるはるのかぜにまがふかな　吉原　嘗顔

桜ちるはるのかぜにまがふかな　真山

桜ちるはるのかぜにまがふかな　青梅　真剛

桜ちるはるのかぜにまがふかな　芳文

新潟 何光
仝 濱道
仝 福磨
名古屋 真臣
目妙加花 不賈堂
上総菱田 音芳
前橋 暗記
上毛宮崎 千本
二ノ袋 金鷲
桑折山 文
南宮 道之
常恒
目妙 島人
陳
花守

水戸村 仝 歌好
仝 黒住
坂井 栄之助
安房中村 照義
若山 愛丸
市川 常恒
常道
名古屋 不賈堂
會津 行文
仝 貫戸丸
川又 蝨丸
下館 棟成
麻生 粒成

[illegible]人の[illegible]れば[illegible]の御[illegible]つけよし　仝　作好

[illegible]人の[illegible]を[illegible]せしに[illegible]の御[illegible]ぞ[illegible]　甲府　久磨

世の人[illegible]人[illegible]人の[illegible]の[illegible]の白波　市川　大壽

[illegible]ぞ[illegible]の[illegible]の宴[illegible]に[illegible]ゆく[illegible]　仝　大路

[illegible]れく[illegible]をかぞ[illegible]人と[illegible]三[illegible]　費川　綾丸

春[illegible]せし[illegible]の[illegible]を[illegible]を[illegible]　初宮崎　音

[illegible]ら[illegible]げも[illegible]む[illegible]ら[illegible]ら[illegible]　上毛千　本

[illegible]風[illegible]ば[illegible]ば[illegible]に[illegible]　甲府　松俊

[illegible]れ[illegible]ぞ[illegible]　久磨

[illegible]の[illegible]一[illegible]の[illegible]　仝　寂覚

[illegible]に[illegible]　柔術　御空

[illegible]に[illegible]　半田　真富貴

[illegible]の[illegible]　柔術　藤磨

[illegible]人の[illegible]　仝　真住

校　四十二

[illegible]人[illegible]ぞ[illegible]に[illegible]の[illegible]の[illegible]　仝　清音

[illegible]代[illegible]の[illegible]は[illegible]に[illegible]の[illegible]　気仙沼　貢

[illegible]の[illegible]川の[illegible]　仙臺　唐丸

[illegible]手[illegible]　大道

[illegible]の[illegible]の[illegible]　岐阜　耿山人

[illegible]ば[illegible]の[illegible]と[illegible]　仝　橋山人

[illegible]ば[illegible]の[illegible]と[illegible]　美濃笠松　真倉

[illegible]月の[illegible]と[illegible]　新庄　壽

[illegible]の[illegible]　仝

[illegible]の[illegible]　仝　文成

[illegible]の[illegible]　仝　鳥

[illegible]の[illegible]　奥大窪　玉守

[illegible]の[illegible]　仝　川又　浪清

[illegible]の[illegible]　仝　為貞

[illegible]の梅所梅次[illegible]名古屋 鬼影
[illegible]　犬山 栗法師
[illegible]　甲州屋敷 山近
[illegible]　仙臺 小猟
[illegible]　上毛藤名 鄰丸
[illegible]　盛岡 岩守
[illegible]　盛岡 黒牛
[illegible]　全 實栄
[illegible]　高寄改 真浪
[illegible]　全 元照
[illegible]　神奈川 見俄和
[illegible]　長岡 貢
[illegible]　全 起人
[illegible]　甲上今井 久丸

特著し今家ハこゝふるりくの初秋絵するむの下叶　甲府 二水
風よりも梅の香の沖辨ハもゝふさゝをなびかゞゝを　桑折 賢久
四季者梅中ゆく花を紅梅ありあふちゝ人ゝ　岩城 真酒影
さゝ[illegible]のゆりふゝのゝん梅[illegible]ゝ風の出どゝゝゝゝ　小町 琴富貴
山梅咲ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ川へ流ゝゝゝく送る花ゝゝ　由羽寒河江 酒盛
ゝゝゝ岩の梅ハ蕾りゆて波ゝも[illegible]ゝ　全 要
[illegible]ゝ[illegible]ゝ梅ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　奥塙 桜水
[illegible]梅ゝゝゝゝゝゝゝゝ風の[illegible]ゝ　小田原 弥廣
[illegible]人の[illegible]ゝ[illegible]ゝ花ゝ天[illegible]の園ハ[illegible]ゝ　全
[illegible]梅の[illegible]ハ[illegible]ゝ月[illegible]ゝ　柿崎 満魚
[illegible]ゝ[illegible]ゝ人の[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　渋 成
[illegible]ゝ[illegible]ゝ梅ゝの花ゝ[illegible]ゝ　庄内 黒人
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　全 二色
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　全 二葉
[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ　諏方 呉鷹

[illegible]　松本新田　膳人

[illegible]　山　近

[illegible]　伊勢津　富安

[illegible]　磯名

[illegible]　信濃部　仲文

[illegible]　仝小平　直成

[illegible]　仝茂田井　元丸

[illegible]　仝牧布施　杉門

[illegible]　仝　永江

[illegible]　仝　真猿

[illegible]　仝　千草

[illegible]　仝　比樂

[illegible]　信濃谷地　真仲

[illegible]　仝八幡　鳩人

[illegible]　上総川名　酒醒

[illegible]　下総佐倉　真素

[illegible]　万事馬

[illegible]　苔成

[illegible]　真亀

[illegible]　千住　熊雄

[illegible]　真直

[illegible]　仝

[illegible]　桐正

[illegible]　越後今町　甲良

[illegible]　直樹

[illegible]　三ツ井　千代人

[illegible]　裏徴加茂三　祢津　水哉

猿

杣木伐る斧の山にこたへし声をきゝなる村猿の声　真門

裏欲加花二
毛栗の笑をとかくあバたまんとまさぐるも白比丘足をかける　内匠

いつのまに木にはのぼる三つ栗の中よく見える猿が郎　甲府 久磨

磨ぐふかき山里も今手をきゝのその猿をみてあまたなる　桑折 眉澄

木の猿をるまで猿の欲しうる都も志のうちも及バじ　大田原 景山

白き歯をみせてや声の真似をんまるひゞくの音まぬ飼猿　大門

あまたゐつゞらの中にく嵐山谷の残よのる木見え猿　名古屋 真辰

月を会も猿親猿浪花に佛とも法ともまうらぬ猿人　柿崎 淡成

恩のあるえらげと思へバ海の月猿ハとゞくまでをかむへいあり　庄内 二色

たゞ行る車ハ志らでふ猿のつげのまれりのふみをやらんや　磯名

路のつれ柿の積にぬつとそとりく宿ハ此のうとかり　千住 熊雄

鈴をさくましらの化をせ見月の山の闇やく峯入の瀬　吉原 素顔

目妙加花二
かぎとりし柿の皮をバむかれて歯をむき出しくやしき猿　千住 米員

萬の主の志めてとへまひにけもあれてりのまゐらせしも　庄内 吾丸

目妙加花一
雅ぐさをさるにハあらで妨さるもまるゝ花秋の夜叶　戸塚 真幸

なかくなにも鼓まゝりの花の音人にもよく似る猿　未佛

猿にさけぶ猿ハさる男がうけ烟のまつきを見せる山姫さる非　福養

猿やゐる梅のかげの花に紅葉又ベに猿をまわるあらん　麻生 真郷

目妙
松風の声のふるくに猿移れる梅をしてる小猿そうしも　上総坂志岡 花住

むくばけくゐても見つ紅葉ハとりの花まろく猿も名ハん　仝 仲盛

あのるをかけ待ひく遊ぶ山猿ハ月ゆる野に尻やぬん　花路

あ海も旅波の越る花梅風をそかのふちるまた木猿　中瀬 金俊

手さの菓うけ猿があまりく笑うけるをそ老の中　桑折 金文

身を水のうつしく月をみんとハ底をそらぬれ猿あまた　新庄 深樹

毛のどれまをもさけてとこ家とるの猿のそ小猿あり　下毛黒羽 酒楽

木実とる枝踏まづし苦あきくら落つる猿のまことよ　水彦

井のゝき猿の影さる渕の木の梢をくぐし小猿ゆゑ　仙臺 大園

藝ハ身をたすけるもの猿も数のつれにうそ窓しく　晴俊

[illegible] 越後長岡 貢

[illegible] 仝 春住

[illegible] 千住 東太夫

[illegible] 萬象

[illegible] 信八幡 升成

[illegible] 千住 真川

[illegible] 米貝

[illegible] 仝

[illegible] 千住 真國

[illegible] 千住 美豆保

[illegible] 仝 東太夫

[illegible] 種俊

[illegible] 千住 山近

[illegible] 千住 真神

[illegible] 元家

[illegible] 青梅 喜代住

蜘蛛

波那細 [illegible] 在内 真牛

[illegible] 千頼

裏徹加花三 [illegible] 気仙沼 美都井

[illegible] 裏徹 [illegible] 仝 歌滝

[illegible] 長竹 行也

[illegible] 烏山 京風

[illegible] 萬象

[illegible] 本輝

[illegible] 幹長

[illegible] 一馬

[illegible] 石綱

目妙加花二　出羽天童　美鳥
目妙加花一　大田原　景山
目妙　岩城　真酒躬
目妙　水戸村　里明
桑折　御空
大坂　早祢
八丁目　星影
家原　金益
白川　春彦
上毛吾妻　秋安
仝椿名　木皮
盛岡　桃也
森　蔭
瀬谷　豊磨

双一四十七

最明　長岡　帛丸
似毛　出羽寒河江
真盛　庄内
二色　仝
東太夫　千住
比左志　祢津
水哉　草加
直丸
糸頼
山近　越後中野
真咲　仝下今町
直樹
松俊

千住 蛙丸

柔名 元家

由刈

琴

波那佃 新庄 真柴

千穎

柔折 栄守

柔折 金文

市川 真河

白川 水野

下毛 水沼 實 松俊

柔折 金一文

真門

京 真惠美

水彦

市川 大路

全

柔折 真鶴

全 真友

気仙沼 歌亂

全 見春

相馬 真雲

岐阜 真啓

信濃 月彦

琴の緒にかゝるを分けし古への独に引出せる糸のつれづく　新庄 満枝

武士のさかりに垂べる琴柱の弦を流れの汀としらんより　名古屋 田鶴丸

三月の雪やこゝろん松琴は枯せの松は声ぐべくるこそ　麟馬

風の合ける琴ゑ吹ぬれバ桐もて作る琴せぞある　粲折 賢久

かくばかり琴の音声を今さら八雲もふるふと思はれぬかな　岩城 長人

宿の人の声ぬ秘曲や調ぶらん松を面白さつゝて琴の音　市住

二つやの声ぐる琴ハ吾朝の流れにさぐく風情なりけり　信松本新田 長盛

うきすを琴にうつして調ぶれバみるの耳や嘉て松の風　津 飯時

松の風碎けそ落しと声をきく昔の琴ぞ思ひやらるゝ　岩城 真酒彫

勇るものゝふさへも調くる琴の音ふゞに迷ふ司馬氏おもひぞな　直也

三吉野の地もありや大和琴天人まよひ出し袖に　物築

まさ公家とも掛ぬる舞楽しも三十三の糸　長門 糸荻

唐のよりハこりで皆貞の廿んぐと吹る大和琴かな　甲府 奥成

切合の伝事井の曲ハ和琴の天人時より声もべきかな　久磨

苗代の水に声へべの曲の音と聞る山田の琴に声られつ　千住 里元

あらそふて綾柳より顕撰ぐ爪ハそぐる渕ぬゞ琴　芹一丸

松風の声ぐべに激の糸かけて琴で物を造りたるかな　新潟 福麿

笛

波那細
涼しげにきく笛の音ハ心つきよを声ある声のぐこえそれ　奥半田 真冨貴

清みは琴に合せてきく笛ハ山松風にさそふ花の琴　名古屋 花守

裏徽
ふく声は浅野にかくし笛ハこちらとよる笛にやあるらん　戸塚 秋津

裏徽加花三
よする浦ぐらく来ても笛の名細工ハふしの竹にそありける　牧布施 真雲

草刈の声ぶよりてふく笛をあからむとてそ吹きされけり　駒人

裏徽
ひろめて堀りし竹ぞとき笛も名ハ釘井というにやあるらん　大道

笛の音に声を碎きよせぬれバ松にまで琴とふき合　房寛

垣越におもしろさと吹ならす声高と吹る笛にやあるらん　岩城 暖丸

鳳凰ものくも吹ならし笛竹の節よぎりさへもある舞ぞ　庄内 出羽住

よませし竹に作れバ鳥のつれそふ出る笛の称　諏方 量

[illegible]

千住 雛丸
里元
吉原 真杉
柿崎 素顔
麻生 渋成
上毛米野入 夢升
京 未武
氣仙沼 清通
白川 春彦
仝 折鶴
仝 酒盛
越後長岡 竹住
柳田 御糧

[illegible]

桑折 賢
周防山 久一
駿府 宣際
信濃赤沼 歌俊
仝 祢津 水好
川船
万事馬

裏微加花三
裏微加花二
越後長岡 山入
上総茂志岡 仲盛
大門
大道
京 真恵美
戸塚 時春

隣

裏微加花三
裏微加花二
裏微

陣とそへぐそで磯のぞれぐふつくろふぬ中北ゐ安をさよ　大門
ゐまで遠ぐいつふまふの里陣は士の墓屋　晒屋　奥福島　千慶
山里ハ物ふけ松もつくろそぐらふくむつゝ陣ふのり　出羽庄内　元季
ぐ物ふぬ大つぐすりとえ日ハきふて遠き陣なりふを　物簗
日秋加茂一　とふ鶴く次手ふうつ稲まふ陣ハ味噌をきる雷の者　鳴立
おぐび敵ををあつも形つぐき貧ふ北中北渡平夢は士　諏方　橘
日秋　筆をぬ物を植く北陸ふよゐ中姫の陣どゝうゐ　半田　真富貴
貧ゝきも中くゝ陣は士ふへぐそのゐぬ安を北　数成
ゐつまゝき陣は士ハ筆いぬ風中物の風情えをを　上総坂志岡　美記
兄中やまぐふゐぐとかゐぐ陣ふをふゐつまゝこをよ　甲府　久磨
者のゝふふもえをを陣よりまゐのゝふをいつゝさの陣　京　末武
を敵ゝあくバ兵法とを形のをを雲ゝこの〻屋ハ大法ふうぐゝ　内匠
陣は士ゐのゝけををふうく陣ぬぬ中北姫ゐををふ　松代　鳴海
四歩ゐ紙ぐ陣のゐつまゝゝ蜻蛉ゐ池まぐゐかりかををく　桑折　歌芳

大ふ恋のゝ陣ゐ陣の形つぐき消ふをふゐとう家ゐ北ゝ　出羽新庄　繁樹
陣は士をゝき中ハ行ふゐいをゐとふる山次乃姫　名古屋　真楫
ゐぐふゐをとをいゐを音つゐのふる芋保陣ゝくをん　万事馬
ゝゝ藤のふらぐゝくも物ふをゐれバをれも陣ふり音　越後長岡　山入
をゝふる陣は士の中姫も安れゝまふつゝふひぐゐ北　鳴音
酒の陣孤ゐゝぐかゐを陣中も物ゝをよ北友ハふりを　諏方　高根
人のゝふいをぐふゐまで陣ふる形を巣ををを物ふざふる　車　十字街
竹姫ふふ酒てふきゝ中もふれ北中もふる陣ふふ　岩城　真酒彫
形乗をゝくをゝ雲陣薩摩ゐ親ふゐ邦浜紙　牧布施　駒人
ゐをを実金を富と行よをゝふゝふ義ふるお陣ゝふ形　祢津　水哉
陣ゝを陣も中北ゝとふれバ極をゐのゝふちなりを　千住　真冨
陣ふふく穴の形くふる郡宿ハのぐ北の松北陣ぐゝ　新潟　蛙丸
山里ゐをゝき陣と交をれバふゝてをゝ物ゐををゐ　常陸麻生　福磨
ゐのまゐ陣ゐのふをへぐゐて北くゐふる黄姫中ゝ　千　金

[illegible]の家の向ふ[illegible]新[illegible]藤一まつれば三里二里[illegible]山里　山松

舟

波那細
[illegible]又[illegible]

[illegible]ぞよ人ハ昔のこゝろのみ　大門

裏微加花三
[illegible]

[illegible]　駿府　石綱

[illegible]　出羽山形　直古

[illegible]の秋ハ[illegible]の[illegible]と[illegible]合[illegible]

[illegible]　全高畑　松年

[illegible]　歌沙丸

[illegible]　善直

裏微加花二
[illegible]

裏微
[illegible]　毛篠塚　寿米流

[illegible]　音人

[illegible]　房大里　珊子

[illegible]　松代　松俊

[illegible]　仙墨　鳴海

[illegible]　春龍

校一五十三

[illegible]　信神代　歌名

[illegible]　出羽庄内　外成

[illegible]　信八幡　里也

[illegible]　大門

[illegible]　越後釋迦塚　雪人

[illegible]　笠間　仲若

目録加花一
[illegible]　仙墨　幾代磨

[illegible]　真亀

目録
[illegible]　上毛狸塚　高成

[illegible]　全篠塚　蔵人

[illegible]　甲市川　常道

[illegible]　信松代　男依

[illegible]　京　未武

[illegible]　上総州屋　春安

夏の夜ハ三十石の引舟も葭原くらし枚方の岸　鴫立

鵜の羽のごと岸ハ涼しく舟を引つな淀の河辺　麻生 歌志久

花紫陽月の出汐にほで揚て引のぼる瀬を難波人　信 神代 歌丸

釣り飼差ある舟か出見れバ一帆をしのぎみぞゆく　白川 折鶴

沖に出て舟ハ見れども陸よりハちひさく見ゆる波の浮舟　仝 酒盛

その昔三十しよりもさながらにいとよく似たる淀の河舟　福島 三千春

波の上八千石の汐路にこぐ帆ハ松緑の松ぞ見え　仙臺 琴賀

涼しさく白かたきの蓑にもありくとしのいろ海原　竹光

比叡おろし来るとしりて数々に本家の浦へいそぐ汐舟　仝 数業

積なをよせて浪のふとよりきたる下のく帆も　長岡 三羽

石葛の浮かれし帆の白き重色の浮の粉つけの舟　春住

引くとく波を浮きて出る舟ハ岸にふれぬぞめでたかりける　仝 吹成

月くらみ出たくくく船のまださかのぼる夜稱の声　奥岩城 長人

吹寄せ風にや船のくるまに波を離てそ来る大つ舟

追風に揚てもいとハず唐ぐるみの帆る八舟の早すぎゆくなり　仝白川 冨美員

飼ひとこるのごとくに見ゆる帆かけの湊につなぎれしみ　庄内 二色

見るさくる帝と難波の蘆を分れ遠ひ向く淀の河舟　仝 二葉

柳の葉をと浮ぶる三風の風の手に乗て似たる　會津 推名

くるとハ宝ぞ帆を引入とものの舟　真亀

折りくる梅を弓とも矢走の舟ハ湖の走る湊　信 式部 千雄

様手こり地獄の白波よこれもうき世のわたけ　仝 八幡 曽代人

夕波に浮ひてる舟の走ハ宝舟の酒に今日花の　本 輝

鴛鴦の共に浮かる河舟ハ手に陸やあり　千住 美豆保

とり出の浦の苫舟を帆を立てまで　善直

追風に女波男波が寄合てのりゆく舟の帆ハ　實丸

海士

波那細

一村を皆おのが舟のうきの釜が　枝成

夢に遠く塩焼より釜がその家につく　雛丸

裏徴加花三
風すとなごを出すく拾のれのこ日ふ幾をぬるぬぎみ　千　頼
裏徴
義波ふ遠れていそぐ釣人をなの金を引ろふ引ろを　土毛篠塚　音　人
波を添ぎ波をつぎてふの花姫ふ似ろりめろる海士人　千住　街
彩の浦よ四を思む蜜ぐ彩ふをとハをもられぎろを　安房八里　恵　顔
いろもをあるく海風きをむれり沖のみ人ひろをめるせを　甲市川　大　路
網引をる海士ぐ綱ふをかて雄をもかびく浦の猛風　長岡山　入
秋の田北仮菴よりも家ぞるひろふふ北蜜ぐ彩の彩　高畑　歌沙丸
なを巣をろ北菴波をれ巣彩波のこの海士と成ん　依田　川常
底をの海士のふ波のるあ縄をこをふふ波ふ浮ぐを
波ををむかき仕巣をいふをなるの底ハ拾せろん　千住　真　榊　全
あぐりを拾をくほつと結ちるの猪ぬれや蜜のこ縄　祢津　水　哉
波千浮ろつのなるあぐ結ぐ拾ろ彩せん拾ぬるあれバ　柔名　糸　頼
和田の糸八十浮ろれ浮ぬて人ふハ蜜の蜜ぐ釣場和　信坂井　由　川
目坂加花一
蜜のふぐ波千ろのよふ和て乗ぬろをふ拾びあろを　歌　綱

彩和弟加るよぐのこ〻みハ浦ちくあるの逆ふ浦やよろ〻ん　柔折　金　文
ろろある蜜の日巣北ぬるをれをれをく彼のぬぼふをく　升　成
目坂
蜜家ろかき月ろをを風塵の波のあるぐ巣をれり　信　若　柴
拾ふ波の和ろをぐれるハ巣をの〻の海士ぐをく〻づを　松代　義　信
巣風ふ帆の巣のぐを巣ふ拾ハ〻ふ別る蜜の女ろり　気仙沼　貢
波拾のぐを蜜のをけ縄やを彩の底を浦を出るハ　松　俊
蜜人を雲の北波ををけ出をとを〻拾ぬれの月　名古屋　田　鶴　丸
白波ふ日ぐを波ぐる拾ぬ彩の巣ぐををぐを巣ぐを海士　水戸　葉　並
藻波やく浦の北巣ふ住拾て蜜ハかく〻ふ世を海を式　會津　真　國
桜貝ろ〻ぐる海士のふ巣ふ打を波のをも数ろり　水戸　真　似人
ろ拾ふ御をぬ〻しを拾ぐりハ彩の彩ふ天女ををん　真　亀
富をを〻宮の波海士ハ浦波をある世浦りを巣ふ北ん　物　築
神社波ぬ〻り〻と海〻彩を海士とハ波の彩巣を富　比左志
蜜ゆふ沖のぐろふ釣竿もぬぐろといを〻漕戻をん　山　近

千住 蛙丸

青梅 芳文

新潟 袖女

皮那細 裏徴加花三 長房 庄内

裏徴加花二 二色 水戸

裏徴 翠 會津

茂雄 京

未武 仙臺

島道 上毛狸塚

高成 信松代

男依 奥二戸袋

若柴 奥盛岡

真史 全泉折

藤麿 全三仙沼

歌渟 全

見春 戸塚

嘉年子 全保原

隣

松景 奥盛岡

為成 信式部

方住 文

丘 全庁倉

川常 越後釋迦塚

真湖 雪

石綱 雛丸

人

されば世の老人と注もいく末の秋ふかのうめて　麟馬
いつくしふ新そへ物の入くかく玉花の手紀ゑとハかりそん　青梅　吉代住
行ふくびとりしつく茅の隙はくも鼓のめをとめでこし　新潟　福磨
目次加花二　うとくある耳をうごけて松ごろふ歯ハをかゝ歯をかゝて言く　庄内　喜丸
目次加花一　弓のゆ　猪ハ曲れどまゝぐる理ゆハ押るのつよゝ新人　仙臺　近道
紫のゑれこゑより手の古稀　歯のゆゝをうけし紀表　長竹　傳
目次　浦名ゞ歯ふ歯もけゆゝん　歯の歯ゑの歯ふ松びく　市川　行也
物ゑゑけくゆしと今ゞ歯ゑゑ紀ふ寄し　枝を古れて　伊勢名不名　真河
古歯とゞゞあきくふかりぬと底ゆゑ新のさびいつふせん　上総坂志岡　道文
ゆらくの猪をこゑ手ふゞゆゆハゆゆ新ゆ手北手ゑ松ゆ　相大山　美記
ゑつ汐のゆれ家の歯の波ゑ形のふまでよりをひゆり　茅屋　兼安
後の麗とくゞと歯吊く猪脊ふ猪のうゞみぬゑ式　茅屋　呑安
山るの屋のゑゆをゆれをを後よゑくぬ義ゑつして　甲府　醉仙樓
山ゑ北ゆ紫ゑ山ゆをひて後の新をとくゑ新くゑ式　甲府　久磨

山ゑハ猪ゆ後ふ歯人もゑつゑ新ゑをゑゑ山ゆくゑ　市川　常道
馬波つけく紀ハかゑゆをゑも歯ハうゑれぬ眼尻乃敏　戸塚　松蔭
なくくとはふハいくどうりゆゑ歯の鍛ハをくくあゑうを　信敬蒔　星彦
門松をなくくゞりて手くふ脊のうゞくくゑ歯をゆゑ紀　名古屋　真勝
紀ふハ歯をつくくゑ新ゆゆを枝をつくゞバなゞ新ゑり手　信坂木　潮来
ゑゑゆゑの後ゆくゑハ歯の波ゑくゞの脊も歯ふゆかり歯　奥盛岡　金馬
いくゆゆよう新とゆくど手歯ハ北ゆゑゆゆで世後ゆゑを　信松代　秀雄
人歯ゆれハ紀ゆゑ古新ゑゑ歯ゑ玉宮で友の紀を住し　長岡　桃三
手でふゑ新ゑゑ北のつりてハ家ふゆゑる歯の波ゑ邪　長岡　菊住
ゆきまりまゞれゑをゑゑゆゆのゆゞゑゑ猪のかゑゞみん　仙臺　松重
ゑ後の手敷を手くゆ手でゑ猪もゑゑゑ新とゑりつる　仙臺　真根人
新ゑ手のゆゞくふ今ハ引ゑくゑ自ゑも苦ふ猪猶の敏　出羽寒河江　要
かゑゑくふゑくゑふ白敏の生ゑゑて手をゑりの中とゞゑる　小田原　満魚
歯人ハ新ゑ手をゑゆゆ中ゑくゑれゑゑ猪のゑゞゆる　仙臺　御代風

諏方　金家
信高島　會津　真玉
金　弓才
御照
真杉
片倉　真冨
茂田井　川常
牧布施　杉門
天神林　永江
望月　真水
御馬寄　澄方
麻生　今人
千金
真葛

双一　五十七

脱野町　廣佳
左内　吾丸
千住　菱田　音芳　数成
街
大門
福養
名古屋　秋津
大道
好人
赤津　真冨
水哉

彼那細　裏微加花一　裏微加花二　目妙　目妙加花一

蔭友

女

王昭君

裏徴加花三 かくまでバ絵師の技をまなびして袖ハ後にぬれもせじ物を　川又 鎰丸

あかねさしまれかくまでもまなびなバ出塞へ送られましを　市川 真河

見しまゝに写す絵筆のうらみより後に絵かゝれまし夜ハ　甲府 久磨

まなびなバ胡のがんをうつし絵に描きしてや画きよからん　大門

金泥をもて身を飾らバ出塞へ送る胡の王昭君ぞ　仙臺 真根人

裏徴加花二 絵師をたのみ積てバうつし絵に尊き身をも送られざらまし　室田 事成

出塞になりても馬上に手向ける照君は村雨にぬれし柳か　幹長

さすらふる身ハつまをむかへて胡地の人となりなん　真國

裏徴 色をえて宮の内にもかくぞある美しき顔をよそにされんとハ　常恒

物おもふ絵師にもとせし身よりなげきて出ることもなし　川又 舎住

昭君の琵琶に眠の覚めて見る弁財天とみえし美しさ　麻生 有丸

筆もて消さぬ絵に書きてその思ひかく　真住

胡馬ぞ今あくまでも風の見るにまかす涙さへふる袖もぬらさで　大道

たよるべき後に桜ぞ吹かれる花ぞ仇なる　未佛

まなびせバ画師ハおとしめ出寒へ送られんとぞ　白川 折鶴

似顔ぞうき桜の花押す手にもまねきしぞうつし絵　一馬

抱きもせで手にしらずきの琵琶を手向ける故郷ハ恋しき　鳴音

琴のねにかき抱かるゝ昭君の絵にも涙の袖ハぬれしや　庄内 真牛

顔よりの写し絵を自慢して絵師に送られし日の昭君　諏方 巣垣

さすらふ風に胡地に送られし描かで昭君ハまなびたのもし　萬象

よく似せよ絵に似せて金をこそまけて絵をかくまいを　比左志

うつし絵のうきや昭君の涙も墨なれバ　真湖

描くべくもえしらで寄せバかくばかりうつし絵ぞうれしかるべき　千頼

目妙加花一 青きある形を画師ハきらはれし胡に照しておく　闌垣

色ひきや病める身のおもかげをまでに出寒へ送られんとは　出羽新庄 美舟

目妙 うつしきたる絵ぞかくまで白き顔をも塗りつくし　柿人

画工に中ぬかれて胡の手に又怨れ涙のこぼれる君の袖　宮崎 棣子

早稲田大学図書館
第6563号
昭36.3.14

かぶりふる孫六の山花北をとて姫ぢいめくと鶯さわらん　吉原　顔

今さらふ濱ふ蔦の神の下つゝハでるとしるべくやまし　會津　真袖

新しもの白きを吹き絵情士が振ふくしてさのごしらん　草加　早丸

まひをして画ふられぜハとゆふ昭和訳とうつされハせド　幹長

動ぐ〳〵を後ハ行く今さらふまひもあぐる神の下うれ　福養

動られ白く琴のまをふうつ弾をどうそるふ世さうん　善直

袋の清もいつ〳〵ちゃんとそもふくあせーうつ絵　桐正

行ゆふ唐きし新のうひもく夫の國ふ為をとぐ世ぐ　富郷

病ふられて神も弾つけのさらふ濱のかるくるハ市　千住　恒麿

画中つ沢海のさらえふまへ　仙つぬ方ふ宮もりし為ハ　元家

弾絵も赤ろ紀とさきとうふバ礼を後ふべあべうもしと　真顔